

研究構想シート		学校名	出雲市立第三中学校
		氏名	三澤 陽子
A 研究主題		主体的に学び、深く考え、共に高め合おうとする生徒の育成 ～キャリア教育を通して～	
B 研究の目的		自ら課題を見つけ、その解決に向け、協力・協働を通して考えを深め、よりよい課題解決に向けて努力する生徒を育成するため	
C 生徒の実態 1. 令和5年度全国及び市学力・学習状況調査の結果より ○情報を整理して概要を読み取ったり、根拠をもとに説明したりすることに課題がある。 ○「話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりするのが楽しい」「課題解決に向けて、自分で考え取り組む。」の割合が高い。 ○自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫する。」の割合がかなり低い。 ○「学習内容を他の学習に生かす。」割合が低い。 2. 教職員のアンケートより ○全体的に授業に落ち着いて取り組み、ペア学習、グループ学習にも前向きである。学習内容の理解や定着のための学習習慣が身につけていない生徒が多い。 ○課題解決に向け意欲的に取り組むが、自分達で課題を見出したり、考えを更によいものにしたたりしようという意欲に欠ける。 ○固定化した関係に依存する傾向が強く、多様な関係の中で高め合おうとする力が育っていない。 ○高校進学に対する意識は高いが、進路を、自分自身の生き方につながる広い視野で考えている生徒は少ない。	E 手立て・内容（研究仮説） 1. 学習過程において、協働的な学びを通して個人および集団の考えを深めていく 手立て の工夫 学習課題の解決に向け、多様な他者との対話を通し、より深い考えに目指す学習展開を工夫すれば、「深く考え、共に高め合う」生徒が育成できるであろう。 2. 総合的な学習の時間（ふるさと教育）の充実 社会とのつながり、学びのつながりを意識した学習活動の実践を積み重ねれば、自己の生	D めざす生徒の姿 本校の目指す生徒像 ○基礎学力を身につけ、自ら考え、表現できる生徒 ○互いを尊重し合い、いじめや偏見・差別を許さない生徒 ○心身を鍛え、たくましく生きようとする生徒 キャリア教育でめざす生徒の姿 【人間関係・社会形成能力】 ・個人で考えたことを、目的や状況に応じて根拠をもとに伝えることができる。 ・多様な他者の考えを聞くことで、新たな視点に気づいたり、自分の考えを深めたりする。 ・話し合いやペア学習での意見交換を通して、集団としてのよりよい考えを練り上げようとする。 ・協働的に学ぶことのよさに気づき、問題解決の手立てとして積極的に活用しようとする。 【キャリアプランニング能力】 ・新しい自分の課題を発見し、よりよいものを生み出そうとする。 ・学習したことが、将来や社会に出たときにどう生かされるかを考え、前向きに学び続けようとする。 ・社会や人との積極的な関わりを通して、自分の特性や自分らしい生き方につなげて考えようとする。	
	F 検証方法 ・協力・協働を通して学びがどうだったかの振り返り ・学力調査、意識調査 ・アンケートQU	G 研究計画 ① 生徒の実態把握 ② 育成したい生徒の姿の明確化 ③ 研究構想、学力向上推進プランの提示 ④ キャリア教育の研修 ⑤ 授業実践 ⑥ 研究仮説・手立ての検証 ⑦ 成果と課題、改善策の共有	